

No.
139

平成29年10月号
鎌倉市長 松尾 崇の



月刊 温故知新 鎌倉

■ 松尾 崇(まつお たかし/44歳)の履歴 ■

昭和48年鎌倉市で生まれ、西鎌倉幼稚園、西鎌倉小学校、鎌倉学園、日本大学、会社勤務を経て、鎌倉市議会議員・神奈川県議会議員を通算約8年間勤め、平成21年より鎌倉市長(現在2期目)。家族は妻と3人の娘(4歳6歳10歳)。趣味は山登り、ジョギング。座右の銘は『温故知新』

住みたい住み続けたいまち、鎌倉

わたしたちのまち鎌倉は、世界に誇る貴重な歴史的文化的遺産と、明るく広がる海や緑豊かな丘陵の自然環境に恵まれ、住む人や訪れる人を魅了するまちとして歩んできました。

わたしたちは、これら先人が築いてきた、かけがえのない資産を守り育て、後世に引き継ぐと共に、これからも鎌倉がふれあいに満ちた、市民が主役の魅力あるまちになるよう、取り組みを進めます。

古都としての風格を保ちながら、新しいイノベーションを取り入れ、まちの魅力をさらに高め、次世代へバトンタッチしていくことが、我々の鎌倉市民の使命であり、役割であると考えます。

松尾崇の主な政策

【子育て・教育】

○民間保育施設の誘致、認可外保育施設の認可化等に積極的に取り組み、待機児童をゼロにします。

○すべての就学児童が放課後等を学校で安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができる「放課後かまくらっ子(放課後子ども総合プラン)」を全校で実施し、学童保育待機児童をゼロにします。

(右上に続く⇒)

- 希望出生率の達成を目指し、幼児教育(幼稚園・保育園等)の無償化を行います。
- インクルーシブ教育システム実現のため、特別支援教育推進計画を作成すると共に、多様な学びの場を作ります。
- 老朽化している小・中学校のトイレを早期に改修します。
- 公園に子供が遊びたくなる遊具を設置します。

【福祉】

- 働きたい障害者が生き活きと働けるように、障害者雇用 2000 人を目指し、市役所が先導して取り組むと共に、市内事業者に働きかけます。
- 健康長寿を実現すべく、高齢者が生き甲斐や、やりがいを持ち、働くことが出来る場、社会参加できる場を作ります。
- 生活困窮世帯など、家庭に課題のある子供の学習支援をさらに推進します

【行財政改革】

- 根気強く法令順守(コンプライアンス)を徹底し、不祥事には断固たる措置を講じ、原因究明をし、業務手順を見直すなどして、再発防止に務めます
- 市役所の部長や課長を積極的に民間登用します。
- 責任者のチェックは厳格にした上で、業務プロセス上での無駄な決裁を省き、行政事務を効率化します。



松尾 たかし

フェイスブック、ツイッター、メールマガジン、ブログを更新中!

(討議資料)

【まちづくり】

○深沢 JR 跡地には、市役所、消防本部、体育館、スポーツランドを新設して、**鎌倉市役所跡地には、市民サービスや相談のための窓口を残し**(主に現在の市役所の1階にある機能)、図書館、学習センター、市民活動センターなどを新設します【**学び、芸術文化、市民活動の拠点**】。これらを出るだけ税金を使わない手法(PFI や PPP など)で実現します。

○渋滞解消、安心して歩ける街を目指して、市民の負担がない『**ロードプライシング**』(鎌倉地域に入る自動車に課金する取り組み)を実現します

○**無電柱化推進条例と屋外広告物条例**を制定して、電線がない美しいまちづくりを進めます。
○開発行為や建築行為等が地域のまちづくりに貢献し、歴史や文化を継承できるよう、住民や専門家が事業計画に意見を述べ、事業者との**協議に参加できる仕組み(デザインレビュー)**をつくります。

○**北鎌倉の洞門トンネル**は、安全と文化財的価値を両立した方法で、出来る限り早期に通行できるように取り組みます。

○約160億円かかる**(仮称)村岡新駅**は、現在、神奈川県・藤沢市・鎌倉市の3者で費用負担の協議を行なっています。

鎌倉市にとっては市外の駅となるので、費用負担は慎重に行い、「鎌倉市の負担(投資)」と市民の利便性の向上や地域経済の活性化など『市民にとっての効果(費用対効果)』を十分に検証することが必要だと考えています。

また、新駅関連費用を含めると300億から400億円かかるという指摘がありますが、新駅の関連費用には、鎌倉市は負担をしません。

いずれにしましても、深沢地域の整備を着実に進めることを最優先します。

4年間の取り組みが紹介されました

NAVERまとめというサイトに、『鎌倉市の影の立役者【松尾崇】市長の実績が凄すぎた！！』という投稿で、4年間の鎌倉市政の取り組みが紹介されました。客観的に、分かりやすくまとめられていますので、ぜひご覧ください⇒

<https://matome.naver.jp/odai/2150558264682677901>

こちらのQRコードでも
ご覧いただけます ⇒



『公務をサボリ』の説明をします

『公務をサボリ、某宗教団体の市政報告会に行っていた！市長は「消防長公用車私的使用の不祥事」の9月4日の市議会各派代表者会議の報告に出席せず、その時間自身の支援団体である宗教団体で政治活動として、市政報告会を行っていた事が発覚。』と、市議会議員の長嶋たつひろ議員のブログにあります。

「公務をサボリ」というのは、明らかな「嘘」です。

議会との事前調整で、この代表者会議には「市長の出席は不要」ということを確認しており、私が不在であるこの日程で各派代表者会議が開催されたものです。このため『公務をさぼった』などということは一切ありません。

なお、私から出向いて、鎌倉市や行政の話をするというのは、様々なグループや団体に対して、日頃から実施していることです。

これまでも彼は「嘘」の情報を多数発信していますが、今後もあれば、随時説明します。

○お知らせ○

◎この温故知新を、ごみとして捨てる際は『ミックスペーパー』へお願いします。

・『月刊・温故知新』(本紙)を10枚以上配布していただける方を募集しています。

⇒「やってあげても良いよ」という方、ぜひご連絡下さい！

・この『月刊・温故知新』を、お店の片隅やレジ横などに置かせて下さい！

◎定期購読をご希望の方は、無料で郵送しますのでご連絡ください。

◎『松尾たかしを応援する会』への連絡先

〒248-0034 鎌倉市津西1-11-1-2階(お蕎麦屋「よしむら」さんの2階)

TEL・FAX 0467-32-7186

発行: 松尾たかしを応援する会

